会合名	第8回「原子カアゴラ」調査専門委員会
	持続的な原子炉・核燃料サイクル検討・提言分科会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*()
 開催日時	*分科会、WG 等具体的に記入のこと 2024 年 2 月 14 日(水) 9:30~12:00 メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと
開催場所	日本原燃株式会社 東京支社第1会議室と webex によるハイブリッド開催
参加者名	【参加者】25名 主査:斉藤(東大) 幹事:岡村(JNFL)、小竹(原電)、白木(MHI)、竹内(JAEA)、山口(原安協) 委員:浅沼(東海大)、石田(NUMO)、碓井(MHI)、浦田(東芝 ESS)、 太田(電中研)、尾形(電中研)、越智(日本 NUS)、亀山(原電)、川合(MRI)、 川崎(福井大)、川村(日立 GE)、小坂(MFBR)、小宮山(東大)、坂下(東芝 ESS)、 田中(JNFL)、中熊(電事連)、三牧(MHI)、雪田(日立 GE) オブサーバ:北川(経産省)
議事	 前回議事要旨確認 前回議事録案について確認し、特にコメント等はなく、承認された。 2. 「長期的な炉型戦略と核燃料サイクル」の説明(田中委員) 本分科会の最終報告書の議論に関連して、田中委員より首題の資料について紹介いただいた。 3. 最終報告書の修正内容の確認 これまでの委員からのコメントをふまえ、幹事間で見直しを実施した最終報告書の修正版をもとに、見直し内容を中心とした確認・議論を実施した。 4. まとめと今後のスケジュール確認 最終報告書に関する追加のコメントについては、1.2 週間を目途に主査、幹事に提出いただき、報告書の最終仕上げを進めることとした。 5. その他 旅費申請承認案件は特になし
備考	
1	

	第 7 回「原子カアゴラ」調査専門委員会
会合名	第7回 原子ガナコブ副重寺 安貞云 持続的な原子炉・核燃料サイクル検討・提言分科会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*(*分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 12 月 20 日(火) 9:30~12:00 メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと
開催場所	三菱重工業㈱(丸の内二重橋ビル 30F 3001 会議室)+Webex のハイブリッド開催
所任初川	【参加者】(敬称略・順不同)(26 名) * はオンラインによる参加
	主査:斉藤(東大)
	委員:石田(NUMO)、碓井(MHI)、浦田(東芝 ESS)*、太田(電中研)*、
参加者名	尾形(電中研) *、越智(JANUS) *、上出(JAEA)、亀山(原電) *、
	川合(MRI) *、川村(日立 GE)、黒﨑(京大) *、小坂(MFBR)、
	加古(Mid) **、加利(ロサ GE)、無調(ホス) **、小坂(Mi Bit)、 坂下(東芝 ESS) *、佐藤(ATENA)、田中(JNFL)、中熊(電事連) *、
	文下(東と LSS) *、佐藤(ATLNA)、田中(SNFL)、中原(電事達) *、 三牧(MHI)、雪田(日立 GE) *
	オブサーバ:大浦(経産省)*、瀧桐(経産省)*
	1. 前回議事要旨確認
	・議事録案を確認し、承認された。
	2. 第7回幹事会報告
	・斉藤主査より、第7回幹事会を 11/28 に開催し、諸量評価や今後の最終報告
	書作成について議論した旨が報告された。
	3. 中間報告書(最終版)の公開
議事	・斉藤主査より「持続的な原子炉・核燃料サイクル検討・提言分科会」中間報告書
	_最終版が学会HPで公開され、原産新聞に掲載された旨が報告された。
	. =4 == = 1 m
	4. 諸量評価
	・小竹幹事より、JAEA にて検討している諸量評価の結果が紹介された。
	5. まとめと今後のスケジュール確認
	・斉藤主査より次回の分科会は 2024 年2月上旬で調整する旨が周知された。
	・最終報告書には諸量評価や中間報告書で持ち越した課題の話を入れる予定。
	・2024 年 4 月以降は、ワークショップ等で説明することを検討する。
 備考	
LHII 'C	

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
専門委員会名	第6回「原子カアゴラ」調査専門委員会
	持続的な原子炉・核燃料サイクル検討・提言分科会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*(
	*分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023年10月10日(火) 9:30~12:00
開催場所	日本原燃株式会社 東京支社第 1 会議室と webex によるハイブリッド開催
	【参加者】24名
	主査:斉藤(東大)
	幹事:岡村(JNFL)、小竹(原電)、白木(MHI)、竹内(JAEA)、山口(原安協)
参加人数	委員:浅沼(東海大)、碓井(MHI)、浦田(東芝 ESS)、尾形(電中研)、
多加八致	越智(日本 NUS)、亀山 (原電)、上出(JAEA)、川崎(福井大)、川合(MRI)、
	川村(日立 GE)、小坂(MFBR)、佐藤(ATENA)、下郡(IEEJ)、
	田中(JNFL)、中熊(電事連)、三牧(MHI)、雪田(日立 GE)
	オブサーバ:大浦(経産省)
	1. 分科会名簿の見直し
	・オブザーバである安藤氏(経産省)から大浦氏(経産省)に交代する旨報告があ
	った。
	2. 前回議事要旨確認
	・前回議事録案について確認し、特にコメント等はなく、承認された。
	3. 日本原子力学会 2023 年秋の大会企画セッションの振り返り
	- 日本原子力学会 2023 年秋の大会で実施した本分科会の企画セッション(9/8)
	について、分科会内で振り返りを行い、セッション運営時の反省点や聴衆からの
	主な意見について共有した。
議事	工な思光について共有した。
	 4. 中間報告書の最終確認
	・本分科会でとりまとめてきた中間報告書(案)について最終的な確認を行った。
	確認結果を反映し、中間報告書として学会のアゴラ調査専門委員会の HP に掲
	載する。
	 5. まとめと今後のスケジュール確認
	・今回得られた意見については、今後、中間報告書に反映を行い、最終版として
	とりまとめる予定。
	・次回の第 7 回分科会は 12/20 に開催予定である旨、周知した。
/# + *	
備考	

専門委員会名	第5回「原子カアゴラ」調査専門委員会 持続的な原子炉・核燃料サイクル検討・提言分科会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 8 月 2 日(火) 9:30~12:00
開催場所	日本原子力研究開発機構 東京事務所第1会議室 Webexによるハイブリッド開催
参加人数	【参加者】(敬称略・順不同)(25名) * はオンラインによる参加 主査:斉藤(東大) 幹事:岡村(JNFL)、白木(MHI)、竹内(JAEA)、小竹(原電) 委員:浅沼(東海大)*、石田(NUMO)、浦田(東芝ESS)*、太田(電中研)*、 尾形(電中研)、越智(JUNUS)、亀山(原電)、上出(JAEA)、 川合(MRI)*、川崎(福井大)*、黒崎(京大)、小坂(MFBR)、 坂下(東芝ESS)、佐藤(ATENA)、田中(JNFL)、中熊(電事連)*、 雪田(日立GE) オブサーバ:安藤(経産省)*、北川(経産省)、瀧桐(経産省)*
議事	1. 前回議事要旨確認 ・議事録案を確認し、承認された。 2. 第5回幹事会報告 ・斉藤主査より、第5回幹事会を 7/25 に開催し、中間報告書に向け、前回分科会のコメント反映を中心に幹事で議論し、報告書案を作成した旨、報告された。 3. 報告書に向けた対応について ・幹事会での議論に基づき作成した中間報告書案をもとに、報告書案の構成、表現、論点及び提言内容の補強などについて議論した。 ・中間報告書の議論は今回の分科会までとし、残った論点は最終報告書作成までに継続して議論することとした。 4. まとめと今後のスケジュール確認 ・次回の分科会では、今回の議論に引き続き最終報告書の骨子案について議論し、2023年度内を目途に最終報告書としてとりまとめる。次回の分科会は10月上旬に予定。 5. その他 ・本分科会の内容に関して、ポジションステートメントでの発信が提言された。発信する方向で調整することとなった。
備考	
]

	一
専門委員会名	第4回「原子カアゴラ」調査専門委員会
	持続的な原子炉・核燃料サイクル検討・提言分科会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*(
	*分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023 年 5 月 23 日(火) 9:30~12:00
開催場所	三菱重工 丸ノ内二重橋ビル 2527 会議室と webex によるハイブリッド開催
	【参加者】(敬称略・順不同)(28 名) *はオンラインによる参加
	主査:斉藤(東大)
	幹事:岡村(JNFL)、小竹(原電)、白木(MHI)、竹内(JAEA)、山口(原安協)
	委員:浅沼(東海大)*、石田(NUMO)、碓井(MHI)、浦田(東芝 ESS)*、
参加人数	尾形(電中研)*、越智(日本 NUS)*、亀山 (原電)*、上出(JAEA)、
	川合(MRI)*、黒﨑(京大)*、小坂(MFBR)、小宮山(東大)*、
	坂下(東芝 ESS)*、佐藤(関電)*、下郡(IEEJ)*、 田中(JNFL)、
	中熊(電事連)*、三牧(MHI)、雪田(日立 GE)
	オブサーバ:大田(経産省)*、佐藤(経産省)*、村橋(経産省)*
	1. 前回議事要旨確認
	・議事録案を確認し、語句修正のうえ、承認された。
	2. 第4回幹事会報告
	・斉藤主査より、第4回幹事会を5/8に開催し、中間報告書に向けた骨子案を中
	心に幹事で議論し、報告書の骨子案として作成した旨、報告された。
	 3. 報告書に向けた対応について
	・幹事会での議論に基づき作成した報告書の骨子案をもとに、骨子案の構成、論
	点及び提言内容の補強、伝えるべきメッセージなどについて議論した。議論の
	途中で時間切れとなったため、次回の分科会で継続して議論することとした。
議事	
	4. まとめと今後のスケジュール確認
	・次回の分科会では、今回の議論に引き続き最終報告書の骨子案について議論
	し、12/E を目途に最終報告書としてとりまとめる。
	5 7 0 M
	5. その他
	・本分科会の論点等については、「日本原子力学会 2023 年秋の大会」の企画セ
	ッションにおいて、本分科会の活動を紹介する予定である。
備考	